

和歌山病院での実習を終えて



蛭間 陽平

今回 10 月 17 日と 10 月 18 日の二日間、和歌山病院で実習をさせていただきました。

今回の実習を通じて大学病院では出来ない貴重な体験をさせていただきました。南方先生によるレントゲン読影の講義では内容としては 4 年生時の復習ではあったのですが、実際自分の身になっていないことが多く、画像読影は実臨床において必須のスキルであるとは理解していたのですが、自分の勉強不足もあり臨床実習において活用できてはいなかったように思います。南方先生の指導は、私たちが当たり前のよう考えていて普段意識していないような「X 線画像が影絵と何が違うのか」といった問題を提起することで、画像読影に対する理解が深まったと感じています。また、大学病院ではあまり触れることのない結核医療の現場に触れさせていただくことはとても貴重な体験であったと思います。結核患者さんに実際に会い、服薬管理や陰圧室を実際に見せていただけたことで実臨床の場を肌で感じることができました。

南方院長を始め、和歌山病院の先生方、この度は貴重な機会を与えていただき大変ありがとうございました。